

環境調査結果のお知らせ

概況

本日、環境調査を行いましたので結果を送付いたします。

検鏡の結果、赤潮原因プランクトンであるメソディニウム・ルブラムが最大1細胞/ml確認されました。

今後、飼育魚や海色等に異常が確認された場合は、海水をペットボトル等で採集し、漁協もしくは宿毛漁業指導所にご連絡下さい。

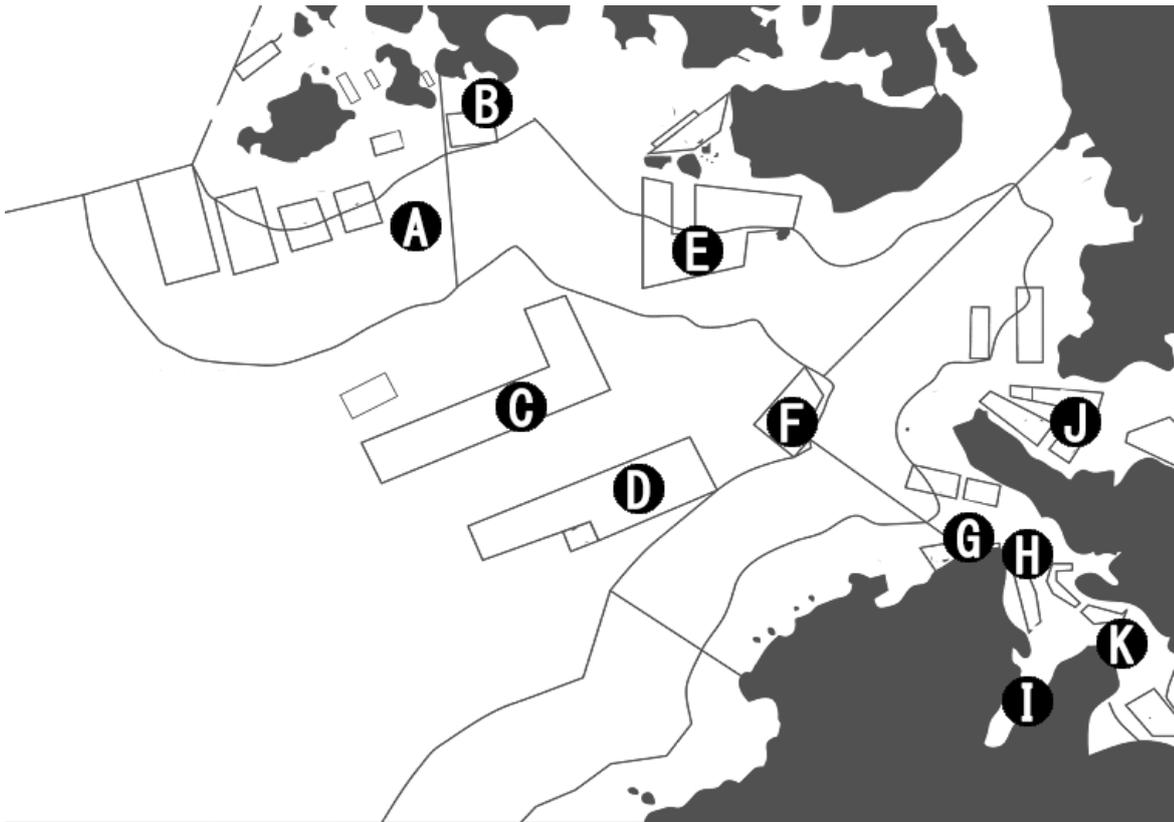
調査点 (透明度/水深) 【調査時刻】	海洋環境				プランクトン	
	深度 (m)	水温 (°C)	塩分	溶存酸素 (mg/L)	コクロディニウム・ ポリクリコイデス	メソディニウム・ ルブラム
A 藻津 (10.8m/39.3m) 【09:30】	0	17.7	34.5	7.1	0	0
	★ 5	17.7	34.5	7.1	0	0
	10	17.7	34.5	7.0	0	0
	15	17.8	34.6	6.7	-	-
	20	17.8	34.6	6.8	-	-
B 宇須々木 (11.6m/27.5m) 【09:22】	0	17.6	34.4	7.1	0	0
	★ 2	17.6	34.4	7.1	0	0
	5	17.6	34.4	7.1	0	0
	10	18.0	34.6	6.8	0	0
	15	17.8	34.6	6.8	-	-
C 大島中央 (11m/33.3m) 【09:41】	0	17.9	34.5	7.1	0	0
	2	18.0	34.5	7.1	0	0
	★ 5	18.0	34.5	7.1	0	0
	10	18.0	34.6	6.9	0	0
	15	17.8	34.7	7.1	-	-
D 小筑紫中央 (10.9m/49.6m) 【10:02】	0	17.9	34.5	6.9	0	0
	5	17.9	34.6	7.0	0	0
	★ 10	17.9	34.7	7.0	0	0
	14	17.8	34.6	7.2	0	0
	15	17.8	34.6	7.2	-	-
E 真珠 (8.8m/33.2m) 【09:10】	0	18.0	34.5	7.1	0	0
	★ 5	18.1	34.5	7.1	0	0
	10	17.9	34.6	6.8	0	0
	15	17.8	34.6	7.0	-	-
	20	17.7	34.6	6.9	-	-
F シラハエ (9.2m/37.9m) 【10:19】	0	18.1	34.5	7.0	0	0
	★ 5	18.0	34.6	6.7	0	0
	10	17.9	34.7	6.7	0	0
	15	17.8	34.6	6.9	-	-
	20	17.8	34.7	7.0	-	-

調査点 (透明度/水深) 【調査時刻】	海洋環境				プランクトン	
	深度	水温	塩分	溶存酸素	コクロディニウム・ ポリクリコイデス	メソディニウム・ ルプラム
	(m)	(°C)		(mg/L)		
G 立石 (9.9m/23.5m) 【10:28】	0	17.7	34.1	6.9	0	0
	★ 3	18.2	34.6	6.9	0	1
	5	18.0	34.6	6.9	0	0
	10	18.0	34.7	7.0	0	0
	15	17.9	34.7	7.0	-	-
	20	17.8	34.7	6.9	-	-
H 一切田 (5.7m/22.4m) 【10:57】	0	17.2	33.7	7.0	0	0
	★ 4	18.4	34.6	6.7	0	0
	5	18.3	34.6	6.8	0	1
	10	18.0	34.7	7.1	0	0
	15	17.9	34.7	7.0	-	-
	20	17.8	34.7	6.7	-	-
I 栄喜奥 (6.1m/13.6m) 【10:39】	0	16.8	33.5	7.0	0	0
	5	18.2	34.7	6.5	0	1
	★ 7	18.1	34.7	6.6	0	0
	10	18.0	34.7	6.6	0	0
J ヒロウラ (7.9m/25.1m) 【11:07】	0	17.0	33.3	6.8	0	0
	★ 5	18.1	34.6	6.7	0	1
	10	17.8	34.7	6.7	0	0
	15	17.8	34.7	7.0	-	-
	20	17.7	34.7	6.8	-	-
K 青瀬山 (6.3m/15.5m) 【10:49】	0	17.8	34.0	6.9	0	0
	★ 5	18.5	34.6	6.8	0	1
	10	18.0	34.7	6.7	0	0
	15	17.9	34.7	6.7	-	-

クロロフィル量が極大の深度および、0m、5m、10mの深度から採水した海水の検鏡を実施しています。

★：採水したサンプルの内クロロフィルが極大であったもの

こちらの「環境調査」は、高知マリンイノベーション情報発信システム「NABRAS」(URL : <https://kmi-nabras.pref.kochi.lg.jp>)においてもご覧いただけます。



- A: 藻津 E: 真珠 I: 栄喜奥
 B: 宇須々木 F: シラハエ J: ヒロウラ
 C: 大島中央 G: 立石 K: 青瀬山
 D: 小筑紫中央 H: 一切田

参考：有害プランクトンの種類と注意及び警戒基準

有害プランクトン	被害	注意基準 (※1)	警戒基準 (※2)	主な赤潮発生時期 ※3		
				浦ノ内湾	野見湾	宿毛湾
<i>Karenia mikimotoi</i> (カレニア・ミキモトイ)	魚類等のへい死	100 cells/mL	1,000 cells/mL	5～8月	6～8月	—
<i>Chattonella</i> spp. (シャットネラ属)	魚類等のへい死	10 cells/mL	100 cells/mL	6～8月	—	—
<i>Cochlodinium polykrikoides</i> (コクロディニウム・ポリクリコイデス)	魚類等のへい死	10 cells/mL	100 cells/mL	—	2～4月	5～6月
<i>Heterosigma akashiwo</i> (ヘテロシグマ・アカシオ)	魚類等のへい死	5,000 cells/mL	50,000 cells/mL	3～12月	4～8月	4～11月
<i>Dictyocha</i> spp. (ディクチオカ属)	魚類等のへい死	—	5,000 cells/mL	6～7月	4月	—
<i>Takayama</i> spp. (タカヤマ属)	魚類等のへい死	—	10,000 cells/mL	8～9月	—	—
<i>Heterocapsa circularisquama</i> (ヘテロカプサ・サーキュラリスカマ)	二枚貝のへい死	—	500 cells/mL	8～11月	—	—
<i>Alexandrium</i> spp. (アレキサンドリウム属)	二枚貝の毒化	10 cells/mL	100 cells/mL	—	1～4月	3～5月
<i>Gymnodinium catenatum</i> (ギムノディニウム・カテナータム)	二枚貝の毒化	—	1 cell/mL	—	—	2～7月

※1 注意基準：餌食いの悪化、警戒基準に達する恐れのある密度

※2 警戒基準：魚類及び二枚貝のへい死並びに二枚貝の毒化が想定される密度

※3 あくまで目安なので、水産試験場・漁業指導所の広報や養殖魚の状態に応じて、慎重な養殖管理をお願いします。